

# 福良港津波防災ステーション

福良港津波防災ステーションは、津波防災に関する2つの目的をもった施設です。保育所から小学校、中学校まで多くの子供たちが利用しています。また、県内外、海外から視察や研修にたくさんのひとが訪れます。

1. 津波に備える知識を広く皆様に知っていただく施設です。
2. 地域の皆様が、交流活動を通して、広く防災ネットワークを作っていただく拠点です。



愛称は『うずまる』です。うずしおのようにまわく、福良の町を守る。



## 福良地区津波避難7箇条

- ① 揺れが小さくても1分以上揺れたら、すぐ避難。
- ② 30分以内に避難場所へ逃げる。こと。(福良では)
- ③ てんでんばらばらで逃げられる信じあえる家族づくり、地域づくり。
- ④ 少しでも高いところを目指すこと。
- ⑤ 建物へ逃げ込むのは最後の手段。
- ⑥ 一度避難したら、絶対に家に戻らない。
- ⑦ 避難のためにも、住宅の耐震化、家具の固定。

## 来館実績等

来館者数：150,625  
平成22年9月～平成31年2月まで

平成22年度	8,307
平成23年度	17,938
平成24年度	19,248
平成25年度	16,524
平成26年度	17,408
平成27年度	14,816
平成28年度	16,912
平成29年度	19,209
平成30年度	20,263
合計	150,625

(人)



◆福良港津波防災ステーションでは、学習リーダーが常駐し、津波に対する防災学習を行っております。より多くのおみなさまにご来館いただきますようお待ちしております。

近い将来、東海・東南海・南海地震が発生すると予測されています。防災学習室で津波を『感じる』『知る』『逃げる』『備える』を学んで、これからの津波防災に役立たせてもらいたいと思います。

津波防災と観光の両方に取り組んでいることが福良の自慢です。

津波防災日本一を目指しています。今回、15万人を超える御来館を頂きました！

自分で体験した防災の取組をみんなに伝えていきたいです！



はとさき 波戸崎リーダー



たにくち 谷口リーダー



まだ 多田リーダー

〒656-0501 兵庫県南あわじ市福良甲 1528-4  
TEL:0799-50-2381 FAX:0799-50-2382  
URL: <http://www.tsunami-bousai.info>  
E-mail: [info@tsunami-bousai.info](mailto:info@tsunami-bousai.info)

◆福良港津波防災ステーション  
開館時間：10:00～16:00  
休館日：毎週月曜日(※月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館日となります)

# 福良港津波防災ステーション かわら版

第8号 平成31年3月



## 福良うずまるフェスタ 2018 を開催しました！



福良うずまるフェスタは、地域の皆さんと観光で訪れた人々が一緒に楽しめるイベントです。

### 開催概要

日時：平成30年9月16日(日) 10:00～12:00

場所：福良港津波防災ステーション及びその周辺

内容：【メインステージ】

オープニングセレモニー

※ステージ出演：

和太鼓「美鼓音」、福良こども園、南あわじ市ウクレレ部、福良さかな節保存会

【防災ステーション周辺】

10:30～12:00 福良路地裏探訪

10:30～11:50 水消火器的当てゲーム

10:30～11:50 備蓄食(そうめん)の試食

随時 防災ステーション内見学

主催：福良地区防災フェスタ実行委員会(福良町づくり推進協議会、淡路県民局、南あわじ市)

### メインステージ

【美鼓音のステージ】



【福良こども園のステージ】



【南あわじ市ウクレレ部(下)、福良さかな節保存会(上)のステージ】



『美鼓音』による和太鼓から始まり、様々な団体のステージが開催され、会場を盛り上げました。また、小学校との合同避難訓練を毎年おこなっている『福良こども園』の園児のステージもあり、多くの観光客などにぎわい、地域活性化にもつながりました。

### 福良路地裏探訪



今年は福良のまちを少し飛び出し、「休暇村」を訪ねました。最大8.1mの津波が予想されている福良湾を眺めながら、福良の歴史や防災について学びました。

### 水消火器的当てゲーム&備蓄食(そうめん)試食

ステージ周辺では、子ども達も楽しめる水消火器的当てゲームのほか、南あわじ市の非常食として備蓄されているそうめんの試食もあり、福良の特産品のPRにもつながりました。



# 津波防災フォーラム 2018 の開催報告

今年の津波防災フォーラムでは、南あわじ市の防災に関する取組や、東北ボランティアに関する事例紹介などをテーマにしたシンポジウムが開催され、今後の福良地区での津波防災の取り組みについて考えるきっかけとなりました。

また、次世代の防災の担い手である舞子高校の生徒や兵庫県立大学の学生、また防災ジュニアリーダーから地震発生時の心得や避難生活において役立つ情報などの紹介がありました。

## ■シンポジウム

(南あわじ市教育委員会 浅井仲行教育長)

【浅井教育長によるお話の様子】



【防災ジュニアリーダーによる活動紹介】



## ■防災劇 (兵庫県立大学、県立舞子高校)

【学生の皆さんによる防災劇の様子】



高校生、大学生が一緒になって防災劇を行い、地震発生直後において身を守るための適切な初期行動や、最悪の場合を想定して行動することの大切さなどについて、とてもわかりやすく伝えてくれました。

## ■開催概要

日時：平成 29 年 9 月 16 日 (日)

13 時 30 分から 16 時 00 分まで

場所：南あわじ市福良地区公民館 2 階及び 3 階

内容：14：00～15：00

シンポジウム

「南あわじ市の防災に関する取組紹介」  
南あわじ市教育委員会 浅井仲行教育長  
「東北ボランティア事例紹介」  
防災ジュニアリーダー  
「災害に備えた南あわじ市の取組について」  
兵庫県立大学大学院生

15：00～15：30

防災劇

舞子高校生徒・兵庫県立大学学生

15：30～16：30

防災避難所体験

防災お菓子ポシェットづくり

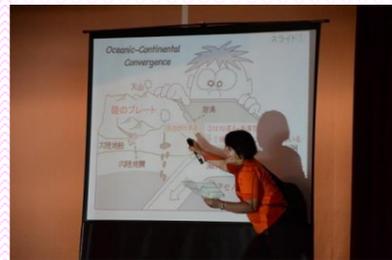
防災食づくり

防災グッズ作成体験

防災謎解きゲーム

主催：福良地区防災フェスタ実行委員会（福良町づくり推進協議会、淡路県民局、南あわじ市）

【参加者への質問の様子】



最後に、防災劇で学んだポイントや「福良津波避難7ヶ条」について参加者といっしょに確認しました。

## ■防災お菓子ポシェットづくり ■防災食づくり

兵庫県立大学の学生や兵庫県立舞子高等学校の生徒が中心となり、正しい津波避難の方法等を学ぶ防災クイズや、身近なものを使った防災グッズの作り方や防災食の調理の体験会を開催しました。参加者は、避難生活の際に役立つ行動や必要な情報について、楽しく学ぶことができたようです。

【防災お菓子ポシェットづくりの様子】



【防災食コーナーの様子】



# 福良のそうめんを紹介するパネルをつくりました！



世界も認める  
美味しさ！

知ってる？  
素麺神社



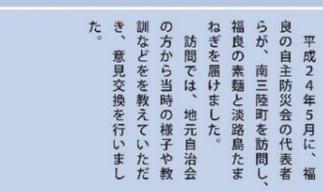
福良の特産の一つ「手延素麺」は、江戸時代天保年間(1830~1843年)から作られはじめた。渡七平という人が伊勢神宮に参拝した帰りに、三輪の里(奈良県)で、農家が素麺を作っている光景を見、その作り方を習得したいと思い、2年間、三輪の里に留まって作り方を学び、福良の地に帰って素麺を作ったことが、福良の素麺づくりのはじまりといわれています。

明治中頃、原料となる小麦粉が洲本市で作られ、更に島外からも小麦粉が入り手できるようにと、素麺の作り手も増えていきました。特に、冬場の不漁期の漁師の副業として発達しました。最盛期の大正時代には、137軒の素麺屋が存在したそうです。現在は20軒以下と少なくなりましたが、今も福良の地で素麺が作られています。

漁師の副業だった！

はじまりは  
江戸時代！

# 福良のそうめん



東日本大震災の復興支援に福良のそうめんを届けました！

じつは非常食にも使われています！



# 宇宙桜植樹

## ■開催概要

日時：平成 31 年 2 月 18 日 (月) 11:15~12:15

場所：福良小学校

目的：国際宇宙ステーションに運ばれた桜の種から育った「宇宙桜」の苗木を福良小学校に植え、長い歳月をかけて大木に育て、津波の襲来時に福良地区の避難地である福良小学校へ避難するための目印にする。

プログラム内容：【第1部】体育館

ひょうたん桜の里、宇宙桜プロジェクトの紹介

『宇宙フライト証明書』及び『継石』の贈呈

『走れタカダイ〜津波避難の歌〜』の合唱

【第2部】グラウンド

植樹式 記念撮影

主催：南あわじ市

## ■『走れタカダイ〜津波避難の歌』の合唱



## ■『宇宙フライト証明書』及び『継石』の贈呈



## ■植樹式 記念撮影

